FUJIFILM

instax mini 7S
インスタントカメラ

使用説明書・保証書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書にはフジフイルム インスタントカメラ instax mini 7S の使い方がまとめられています。
内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

Printed in China　BB20409-100　FPT-800202-Ni-01

FUJIFILM　**保証書**

製品名　instax mini 7S　ご購入年月日　年　月　日

お名前　様　TEL

ご住所

店名印

製品保証規定

1. 保証の内容
ご購入後1年以内に万一この製品が故障したときは、この保証書を添えてご購入店または弊社修理サービスセンターにお届けください。無料で修理いたします。
なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。また、ご購入店と弊社間の運賃諸掛かりにつきましても一部ご負担いただく場合があります。
2. 次の場合は保証期間内でも上記１．の保証規定は適用されません（修理可能の場合は有料で修理をお引き受けします）。
イ．修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
ロ．保証書にご購入年月日、購入店名が記入されていない場合、または記載事項を改ざんされた場合。
ハ．富士フイルム修理サービスセンター以外で分解、修理されたもの。
ニ．火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
ホ．お取扱上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
ヘ．本体に付帯している付属品類（ストラップなど）および消耗品（電池類など）。
ト．前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
チ．各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。
3. 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失、精神的な損害など）の補償には応じかねます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 本保証書は、前記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これにより弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本保証書の表示についてご不明な点は、右記の弊社問い合わせ先へご相談ください。
- 本保証書は紛失されても再発行いたしません。

主な仕様

項目	仕様
使用フィルム	フジフイルム インスタントカラーフィルム instax mini
画面サイズ	62mm×46mm
レンズ	2群2枚構成　f=60mm　1：12.7
ファインダー	逆ガリレオ式ファインダー　0.4倍　ターゲットマーク付き
撮影範囲	0.6m〜∞
シャッター	1/60秒
露光調節	手動切り替え方式
フィルム送り出し	電動式
フラッシュ	常時発光フラッシュ（自動調光）　充電時間：0.2秒〜6秒（新品電池使用時）　フラッシュ撮影距離：0.6m〜2.7m
電源	単3形アルカリ電池（LR6）4本　撮影可能パック数：約20パック（当社試験条件による）
オートパワーオフ時間	5分間
その他	フィルムカウンター　フィルムパック確認窓付き
大きさ・質量	119.5mm×121.5mm×70.5mm 320g（電池、ストラップ、フィルム別）

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

このようなときは…

ホームページの『Q&A』もご参照ください。
http://fujifilm.jp/support/

■撮影中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
シャッターが切れない。	①電池が消耗している。 ②電池の入れ方が間違っている。 ③電源が入っていない。 ④赤ランプが順々に点滅している。 ⑤電源ONのまま何も操作しないで5分以上放置していた。	①電池を交換します。 ②電池を正しく入れてください。 ③レンズ部を手前に引き出し、電源を入れます。 ④フラッシュ充電中です。緑ランプが点灯するまでお待ちください。 ⑤レンズ部を一度押し戻して再度引き出すか、シャッターボタンを押すと、電源ONの状態に復帰します。
フィルムが入らない、またはスムーズに入らない。	①撮影しようとしているフィルムパックがこのカメラに適合しない。 ②入れ方が正しくない。	①フジフイルム インスタントカラーフィルム instax mini を使用します（他のフィルムは使用できません）。 ②フィルムパックの黄色の線とカメラの位置合わせマーク（黄）を合わせて入れます。
赤ランプが同時に点滅している。	●電池が消耗している。	●電池を交換します。

■出来上がった写真がこのようなときは…

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
出来上がった写真が白っぽい。	①明るさ調節ダイヤルの設定が正しくない。 ②撮影時の温度が低い（＋5℃以下）。 ③フラッシュ受光窓がふさがれていた。	①明るさ調節ダイヤルを※方向に一段階回して試してください。 ②撮影前のカメラを暖かい場所に置いてから撮影します。また、送り出された写真をポケットの中などで温めます。 ③フラッシュ受光窓をふさがないよう、カメラの構え方に注意してください。
出来上がった写真が暗い。	①明るさ調節ダイヤルの設定が正しくない。 ②撮影時の温度が高い（＋40℃以上）。 ③フラッシュ発光部がふさがれている。 ④フラッシュの光が届かない。 ⑤白っぽい背景・鏡やガラスなどによるフラッシュ反射光の影響を受けている。	①明るさ調節ダイヤルを☗方向に一段階回して試してください。 ②カメラを涼しい場所に置いてから撮影します。また、送り出された写真を熱いものの上や近くに置かないでください。 ③フラッシュ発光部をふさがないよう、カメラの構え方に注意してください。 ④被写体から0.6m〜2.7mの範囲で撮影します。 ⑤白っぽい背景・鏡やガラスに対して斜め方向から撮影します。
画面がぼんやりしている。	①撮影距離が近すぎる。 ②撮影レンズが汚れている。 ③手ブレのため。	①0.6m以上離れて撮影します。 ②弊社修理サービスセンターにご相談ください。 ③カメラをしっかり構えて、ゆっくりシャッターボタンを押します。
画面にむらがある。	①取り出してすぐ写真に圧力が掛かった。 ②写真がスムーズに送り出されない。	①画面内を押さえたり、曲げたりしないでください。 ②フィルム出口を指などでふさがないでください。
ファインダーでねらったものとズレて写った。	●撮影距離が近すぎる。	●0.6m以上離れて撮影します。

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告	⚠ 注　意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警　告

- 絶対に分解しないでください。感電の原因になります。
- 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する原因になります。
- カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの原因になります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。
- フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。
- カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の原因になります。
- 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの原因になります。
- カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する原因になります。
- 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の原因になります。
- 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の原因になります。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む原因になります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注　意

- カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
- 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- 新しい電池と古い電池、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。また、電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- カメラの内側の可動部に触れないでください。けがの原因となることがあります。

このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。（CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルム修理サービスセンターに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、右に記載の富士フイルム修理サービスセンターをご利用ください。

●代品修理
修理内容によっては外観の異なる同等タイプカメラの部品を代用、または同等タイプカメラを代品する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

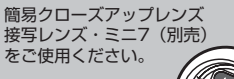
●無料修理
故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
＊詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

●有料修理
保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

●修理不能
浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フイルム修理サービスセンターにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間
この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店か富士フイルム修理サービスセンターにお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意
1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルム修理サービスセンターで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは3,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルム修理サービスセンターで、お預かりしてから通常7〜10日位をご予定ください。

●海外旅行中の故障
本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、持ち帰った後、国内の富士フイルム修理サービスセンターにお問い合わせください。

取扱上のお願い

■カメラの取り扱い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
2. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
3. 長期間お使いにならないときは、電池を取り出して、湿気、熱、ほこりの影響の少ないところに保管してください。
4. ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでほこりを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。
5. 汚れをふきとるのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
6. フィルム室に汚れやほこりがあると、フィルムを傷つけることがあります。特にカメラ内部の清掃は常に心掛けてください。
7. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
8. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
9. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、1分間以上おいてから再度入れ直してください。
10. このカメラの使用温度範囲は＋5℃〜＋40℃です。

■フィルム、写真の取り扱い

1. フィルムは、涼しい乾燥した場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早く撮影してください。
3. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
4. フィルムは有効期限内にお使いください。
5. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをおすすめします（詳しくは各空港でご確認ください）。
6. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。

＊外から入った異物や、フィルムからもれた液によってローラーが汚れた場合は、富士フイルム修理サービスセンターにご相談ください。

便利に楽しくお使いいただくために

焼き増しや引き伸ばしもできます

お近くの写真店にご相談ください。

写したいものに近づいて大きく写せます

簡易クローズアップレンズ
接写レンズ・ミニ7（別売）
をご使用ください。

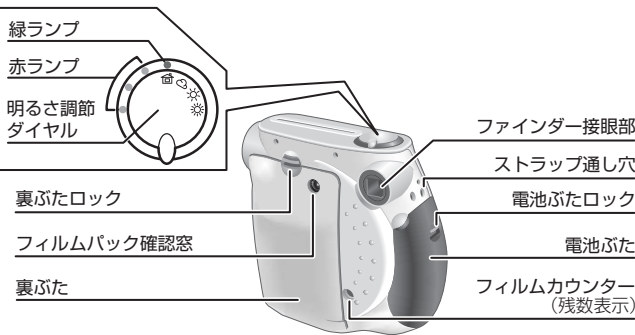
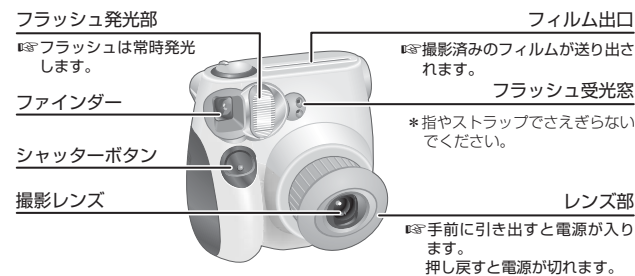
FUJIFILM　富士フイルム株式会社

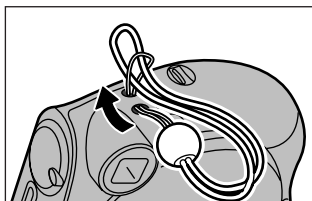
●本製品のお問合せ先
富士フイルム PI サポートセンター
ナビダイヤル　0570-001-080
⇒呼び出し音の前に NTT より通話料の目安をお知らせします。
受付時間：月曜日〜金曜日　9：00〜17：40（土日祝日、年末年始、夏期休暇を除く）
▶ PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合は、042-481-1697 にお願いします。

●本製品の修理受付窓口
富士フイルム修理サービスセンター
ナビダイヤル　0570-000-081
⇒呼び出し音の前に NTT より通話料の目安をお知らせします。
FAX　0570-060-070
受付時間：月曜日〜金曜日　9：00〜17：40/ 土曜日　10：00〜17：00（日祝日、年末年始を除く）
▶ PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合は、0228-35-3586 にお願いします。
▶ 修理品を持参または送付される場合は、下記サイトをご覧ください。
http://fujifilm.jp/support/

●富士フイルム製品のお問合せ先
富士フイルム株式会社
お客様コミュニケーションセンター　03-5786-1711
〒107-0052　東京都港区赤坂９丁目７番３号
富士フイルムホームページ：http://fujifilm.jp/

各部の説明

☞：参考になる情報などの記載　＊：注意などの記載

撮影の準備

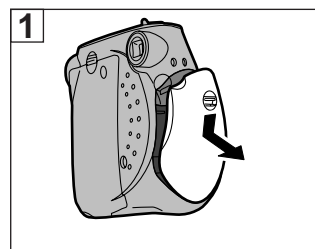
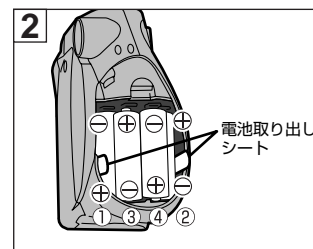
ストラップを取り付ける

ストラップ通し穴にストラップを通します。

落下防止のため、持ち運んだり撮影するときはストラップに手首を通してください。

電池を入れる

1

電池ぶたを開けます。

2

❶⊕⊖の方向を表示に合わせて①②の2本の電池を入れてから、③④の2本の電池を入れます。
☞電池取り出しシートが電池の下になるようにしてください。

❷電池ぶたを閉めます。

■電池の交換時期

- 赤ランプが3つ同時に点滅したとき
- 電源を入れたときに、緑ランプ、赤ランプともに点灯／点滅しないとき

＊4本とも新しい電池に交換してください。

■電池の取り出し方

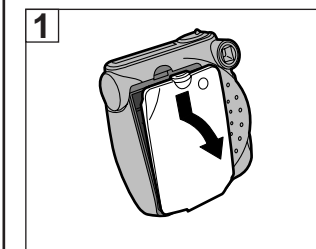
❶上側の③④を取り出します。
❷電池取り出しシートをゆっくり引いて、下側の①②を取り出します。

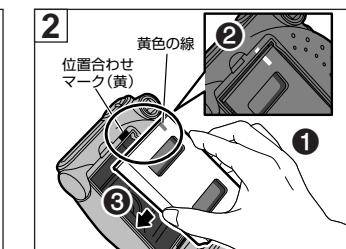
■使用する電池　★単3形アルカリ電池（LR6）　4本

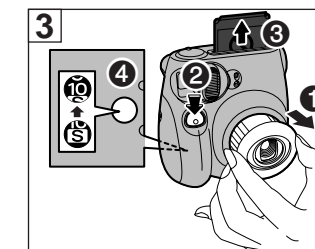
＊必ず4本とも、新しい同じ銘柄・種類のものを使用してください。
＊アルカリ電池以外は使用しないでください。
＊新しい電池で約20パック撮影できます（当社試験条件による）。
＊寒冷地では電池の性能が低下します。電池をポケットの中などで温めてからお使いください。
＊同梱の電池は、試供品です。

フィルムパックを入れる

電池が入っていることを確認してから、直射日光を避けて行ってください。

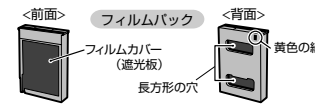
1

裏ぶたを開けます。
＊裏ぶたに無理な力を加えないでください。
＊カメラの内部に触れないでください。

2

❶フィルムパックの左右を持ちます。
❷フィルムパックの黄色の線とカメラ内部の黄色の位置合わせマークを合わせます。
❸まっすぐ落とし込むように入れます。裏ぶたを閉めます。
＊裏ぶたはひといきで閉めてください。途中で止めたり、完全に閉まる前に開け閉めすると、フィルムが感光する恐れがあります。

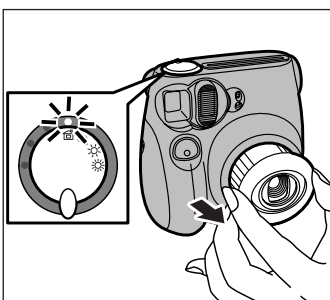
3

❶レンズ部を手前に引き出します。
❷シャッターボタンを押します。
❸排出されたフィルムカバーを取り除きます。
❹フィルムカウンターが"S"➡"10"に変わり、撮影可能になります。
＊シャッターボタンを押すと、フラッシュが発光します。

フィルムパックをセットした後は、絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムが感光する恐れがあります。

■使用するフィルム

★フジフイルム インスタントカラーフィルム instax mini（チェキ用フィルム）
（他のフィルムは使用できません）
＊フィルムパックには1枚の黒いフィルムカバーと10枚のフィルムが収納されています。
＊フィルムパックはカメラに入れる直前に内装袋から取り出してください。
＊フィルムカバー、背面2カ所の長方形の穴は絶対に押さないでください。

撮影してみよう（屋内や暗い屋外での撮影）

1 電源ON

レンズ部を手前に引き出します。
☞緑ランプが明るさ調節ダイヤルの🏠の位置で点灯していることを確認します。

＊最初の状態では明るさ調節ダイヤルの🏠マークが緑ランプにセットされています。
＊電源を入れたまま約5分間放置すると、自動的にすべてのランプが消灯し、省電状態に入ります。次のいずれかの方法で電源ON状態に復帰できます。
- レンズ部を一度押し戻し、再度引き出す。
- シャッターボタンを押す。

緑／赤ランプについて

緑ランプ：点灯

撮影準備が完了しました。
☞撮影前に緑ランプの点灯を確認してください。

赤ランプ：点滅

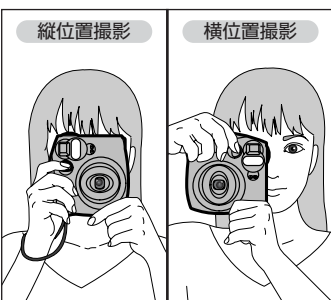
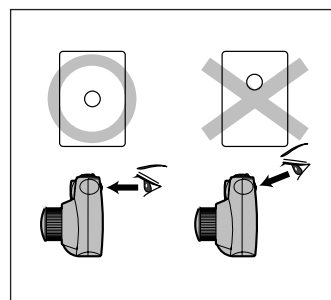
順々に点滅 <フラッシュ充電中表示>

緑ランプが点灯するまでお待ちください。

同時に点滅 <電池容量警告表示>

電池容量が少なくなりましたので、新しい電池と交換してください。

2 構える

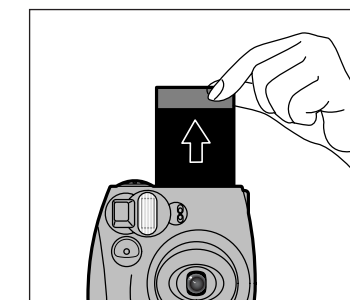
カメラを両手でしっかり構え、ファインダーをのぞきます。

＊横位置撮影では、フラッシュ発光部が上にくるように構えます。
＊フィルム出口を指などでふさがないでください。
＊指やストラップなどが撮影レンズやフラッシュ発光部、フラッシュ受光窓に掛からないようにしてください。

ファインダーは、中央の○が見えるように真正面からのぞいてください。
その際、指がファインダーから見えないように構えてください。
＊○が中央からズレていると、見える範囲と写る範囲にズレが生じます。また、ファインダーから指が見える状態で撮影すると、フラッシュ撮影時、できあがった写真が暗くなることがあります。

3 撮る

構図を決め、シャッターを切ります。
☞常時、フラッシュが発光します。

＊最短撮影距離は0.6mです。
＊フラッシュ光が届く範囲は、0.6m～2.7mです。
＊シャッターボタンを押すときにレンズ部に触れないように注意してください。
＊フラッシュ撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

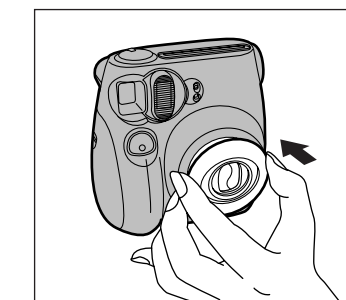
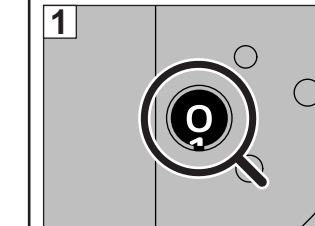
4 取り出す

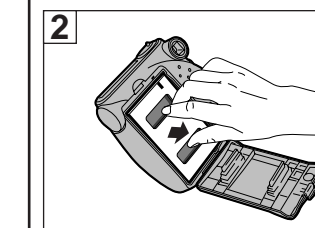
モーター音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出します。

＊フィルムが送り出されるときにフィルム出口を指などでふさがないでください。
＊撮影したフィルムは、その都度取り出してください。

5 電源OFF

レンズ部を押し戻します。

フィルムパックを取り出す

1

撮影するごとにフィルムカウンターの数字が"10"から減っていき、最後の1枚を撮り終わると、"0"が表示されます。

2

裏ぶたを開け、フィルムパックを取り出します。

明るさ調節ダイヤルを使って撮影しよう（明るい屋外などでの撮影）

このカメラは明るいところでもフラッシュが発光します。

きれいに写すために、撮影する場所の明るさに応じて明るさ調節ダイヤルを変えてください。

❶明るさ調節ダイヤルのお天気マークを緑ランプに合わせます。
❷ダイヤルを合わせたら、構図を決めてシャッターを切ります。

■ 明るさ調節ダイヤル設定の目安

	屋内・夜間 屋内または暗い屋外（夜間）などでの撮影
	曇り・日陰 雨天、曇天・日陰など、影がほとんど出ない条件での撮影
	晴れ・薄曇 晴天、または薄曇りなど、明るい条件での撮影
	快晴 快晴など、非常に明るい条件での撮影

上手な撮影のヒント

このカメラは常時、フラッシュが発光します。
上手に使いこなしてきれいに写しましょう。

■ 白っぽい背景・鏡やガラスなど、光を反射させるものがあるとき

少し斜めから写すなど、反射光がカメラに入らないように工夫しましょう。

■ 二人以上の人物を撮影するとき

カメラからそれぞれの人物が同じ距離に並んで、均等にフラッシュ光が当たるようにしましょう。

■ 逆光で撮影するとき

明るさ調節ダイヤルを🏠の方向に一段階回して撮影してみましょう。

フィルムや出来上がった写真を取り扱うときは…

- **写真の仕上がり**　＋5℃から＋40℃の温度でご使用いただくと、よい写真が得られます。

＊気温が低い場合は、すぐに上着のゆったりしたポケットの中などで約30秒間温めてください。
＊極端に熱いところに置かないでください（熱い砂やコンクリートの上、ストーブの近くなど）。
＊撮影直後の写真は画像が安定するまで直射日光は避けてください。また、写真を振る、曲げる、折る、押さえる、こするなどしないでください。

美しい写真は、"初めの30秒間の温度"が大切です。

- フィルムが残っている状態では、絶対に裏ぶたを開けないでください。

☞フィルムが感光する恐れがあります。
☞フィルムカウンターがリセットされ、正しい撮影可能枚数が表示されません。

☒ 注意

- このフィルムの内部には、黒色の腐食性（高アルカリ性）の液が含まれています。撮影後、約10分間でアルカリ性は弱まりますが、未使用のフィルムや撮影直後の写真を扱うときは、次のことを守ってください。

口に入れない（特に乳幼児やペットにはご注意ください）

切らない

引きはがさない

穴を開けない

万一、この液が皮膚や衣服などについたときは、速やかに水で充分洗ってください。また、目や口に入った場合はただちに多量の水で充分洗った後、医師の診察を受けてください。